

自立支援協議会 相談支援部会 記録

日時：令和8年2月13日（金） 15：30～16：40

場所：今治市総合福祉センター2階 障がい者交流室

司会：障がい者生活支援センター(事務局) 記録：今ねっと

【参加事業所】

- ・地域活動支援センターときめき・アゼリア
- ・ぽぴー ・基幹相談支援センター
- ・障がい者生活支援センター
- ・障がい福祉課 ・今ねっと

○今年度の相談支援部会について

事務局が作成した全体会提出資料の確認を行った。

○令和8年度 相談支援部会について

- ・12月の計画相談支援事業所連絡会に四国中央市基幹相談支援センターの越智氏に来て頂いたが、改善策についての返答が送られてきている。それを相談支援部会か連絡会等で相談出来たら。
 - ・社会問題に取り組んだ方がいいのではないかな。地域課題はその都度検討していけばよいのではないかな。予算もあるわけではないし、改善が難しい。令和9年の報酬改定の準備もしていく必要あり。
 - ・地域課題の抽出という目的を変えてしまうと、1から相談支援部会とは？ということ考えていかななくてはならないのでは。
 - ・運営会議では、上がってきた地域課題の協議を少しずつ行っている状況で、あまり出来てない。
 - ・地域課題の抽出を行い、他のことも何か行った方がいいのか。
 - ・同じ地域課題であっても積み上げは大事。同じ課題が沢山出てくることで、やはり沢山困っている人がいる、となるのではないかな。
 - ・地域課題の積み重ねは大事。大事なのは予算を組んで頂くこと。同じ課題が沢山積み上がることで上に上げることが出来る。
 - ・他の新しい課題がないのに、今重要とされている地域課題をないがしろにするのはどうか。話し合いの時に居宅介護の課題、児童の課題など、色々行ってきたが、例えばこの月はこの課題と焦点を絞るのはどうか。今月は居宅、今月は児童と絞って肉付けをして話し合うと良いのではないかな。
- これについては、今年度行っていた。集約して肉付けして運営会議に上げていた。
- ・この月の課題提出は、このテーマの地域課題と絞ってはどうか。
- これから新しい課題を出していくので、同じテーマの課題を集約出来るほど集まるのか。地域課題と思ったら、その都度メモっているので、テーマを絞られると出しにくい。
- ・障がい福祉課としては、部会で地域課題を検討したものを全体会に上げる流れだが、ただ来年度予算をあげるのが10月末までなので、理想は、これは絶対必要というものを翌年度までには調査して、こんな状況でこれが足りないからと上げて欲しい。令和7年度に報告したら令和9年には予算

が下りるかもしれない。財政課も全体会上げてからじゃないと予算が下りないというわけではなく、内容によれば予算が通るかもしれない。

- 自立支援協議会を通すと、予算取りに全体会を通さないといけない。早くしないといけない課題は、早く予算取り出来るかもしれない。
- 運営会議で中々話が進まないのので、相談支援部会で肉付けまでして運営会議に上げると、必要な課題は持ち帰って検討して頂けて、予算取りに早く繋がるかもしれない。
- 現在、運営会議で検討出来てない課題は一回相談支援部会に下ろしてはどうか。

結論：来年度も継続して地域課題に取り組む。抽出した地域課題を掘り下げて検討し、肉付けまでして運営会議に上げる。運営会議で取り組めていない課題は整理して、相談支援部会に下ろして、再度検討してはどうか。

★来年度より、場所が障害者交流室から、ボランティア交流室に変わるので注意してほしい。